

教育目標： (1) 自ら考え判断し行動できる人になろう (2) 思いやりのある心豊かな人になろう (3) 心身ともに健康でたくましい人になろう

目指す学校像： 「輝く未来を創造」し、国際社会に進んで貢献できる生徒が育つ学校… ○思いやりのある「豊かな心」を育み、安心して活動できる学校 ○個性や能力を生かし、「確かな学力」を育むことができる学校 ○心身ともに健康で、たくましく生きる力を育むことのできる学校

目指す生徒像： 個性と創造力豊かな生徒… ○互いを尊重できる人間性豊かな生徒 ○自ら進んで自己実現に向けて学び続けようとする生徒 ○心身ともに健康で、生きがいを持ち自立できる生徒

目指す教師像： ○共感する姿勢をもち生徒の健全育成に主体的に取り組むことのできる教師 ○創意ある教育活動の推進に意欲的に取り組むことのできる教師 ○高い人権意識感覚を持ち、自ら範となり伝えることのできる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	今後の課題	学校関係者評価記入欄
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
豊かな心の醸成	人権尊重の理念を基調とした教育を推進し、互いに認め合い、思いやりのある豊かな心を育む。	生徒主体の学校行事等を通し、学級居心地感を高め自己肯定感を育て、いじめの根絶と不登校生徒の減少に努める。	自己肯定感の育成に努め、居心地の良い学級づくりを行う。安心した集団生活を送れるよう、毎学期アセスメントを行い、結果を指導に活かす。	2	3	4	3	・否定的な回答をしている生徒が約1割いることが心配。	・授業を参観し、3学期という時期でしたが、欠席者が少なく、学校が楽しいと感じている生徒多いように思います。 ・生徒9割が学校の居心地が良い、道徳の授業で主体的に参加している事も素晴らしいと思います。 ・生徒会本部が出した教育目標も中学生のやる気ある文言です。
			学校いじめ防止基本方針に基づく対応を徹底し、いじめの根絶を目指す。不登校生徒削減に向け、SCやSSWの協力を得ながら、生徒に寄り添った教育相談活動を進める。	4	4	3	3	・否定的な回答をして生徒が約15%いること。 ・悩みを抱えている可能生がある生徒がいること。	・いじめ防止は授業観察で取り組んでいる様子を感じます。 ・ハートフルウィークの設定を考慮しておられるようで、効果が楽しみです。 ・担任の先生が一人で抱え込むのではなく、組織的な対応を通していじめの根絶を目指してほしい。
			「特別な教科 道徳」の内容や指導法を工夫・改善し、「考える道徳」「議論する道徳」の推進し、適切な評価を実現させる。	3	3	4	4	・ICTを活用した活動が強調され、直接言葉を交わすこと場が減ってきていること。	・服装に関する校則はともかく、創立80周年目指し、スローガンの校則は如何でしょうか。 ・生徒の評価で9割以上の生徒が肯定的な回答をしている。先生方の努力がこの数字に表れていると思います。
確かな学力の定着	個性や能力を生かすわかる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かな学力の定着を図る。	各教科、領域等で言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びの充実を図り、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する。	授業における言語活動の推進・充実を、習得・活用・探究という学習活動の在り方を研究し、日常の授業改善につなげる。	2	3	4	4	・ICTを活用した活動が強調される中で直接言葉を交わすことが減ってきていること。 ・話し合う場面と個人が思考する場面のメリハリが大切。	・授業で先生が話し合い活動を重視し、生徒の考えを上手に引き出していると感じます。 ・今後も、大人数の前で発言することが苦手な生徒への丁寧な対応と互いに認め合う雰囲気的情勢をお願いします。
			GIGAスクール構想によるタブレット端末の活用を更に進め、学習の個別最適化、協働的な学習を推進し、「できた!」「わかった!」が実感できるようにさせる。	1	2	3	3	・情報検索や提出物の回収以外にも多様な活用方法について研究していただきたい。 ・ICT活用の数値向上のみを目指さず、効果的な活用を考えていただきたい。	・今の子供たちは情報を得ることに秀でていますが、その情報を正確に捉え、自分自身の問題として切実感をもって捉えられるかが大事だと思います。 ・教室にホワイトボードを設置してICTを活用できる環境が整っていると思います。 ・ICTは便利だが、実物に触れることとのバランスを大切にほしい。より効果的な使用場面について研鑽を重ねてほしいです。
			放課後、長期休業を利用しての補習教室等の開催により、学習の遅れがちな生徒の学びの基礎作りを努める。	—	4	4	3	・数値の増減のみを課題と捉える必要はないのではないか。	・学習教室の実施回数では、先生方の努力が感じられる。感謝しています。 ・大規模工事も終了したので、次年度は長期休業を利用して学習教室を充実させてほしいです。
体健やかな育成	体力・運動能力の向上を図り、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送れる力を育てる。	基本的な生活習慣と結び付けた運動の日常化を推進する。	保健体育の授業や運動部活動を通し、日常生活での意識啓発を行い、生徒の体力・運動能力の回復・向上に努める。	1	4	3	3	・運動が苦手な生徒でも、自主的に運動しようとする取り組みが必要ではないか。	・ゆったりする場所が部内には少なく体力向上は難しいが、自ら考えて玉川上水散策など進めたい。 ・保護者意見で部活動の要望がありますが、教員の働き方改革、地域移行の流れについて、国分寺市として方向性を示してほしいですね。
輝く未来の創造	持続可能な社会に向け、開かれた学校づくりや愛校心や郷土愛を育み、所属感・連帯感を養うことで地域との連携や、生徒の社会貢献への意識を高める。	自校及び校区を中心にESD(SDGs)を推進する。保護者や地域と連携した多様な教育活動を行い、進んで社会に貢献できる力と態度を育てる。	教育課程に職場訪問など地域連携を位置づけるとともに、生徒の地域事業への積極的な参加を呼びかけ、ボランティア活動への社会貢献の意識を高揚を図る。	—	1	—	1	・SDG'sを言葉だけで終わらせないようにすること。 ・発達段階に応じて、学習内容とSDG'sを結び付けながら推進する必要がある。	・市の自治会加入率は3割だが、関連する自治会に働きかけ年1回、地域ボランティア会を開催したらどうか。 ・地域連携、社会貢献については、一中だけの問題ではなく日本全体のことと考えます。学校がバランス感覚を持ってできる範囲でやっていただければよいと思います。 ・民生委員を通じて、地域から中学生へのボランティアの依頼が増えてきている。人数制限によって、参加を見送った生徒いるので、地域としても中学生が参加できる機会を増やしていきたい。 ・防災教育の一環として、小学校で行われている学校キャンプに中学生がボランティアとして参加できるように地域に働きかけてみたいと思う。
			開かれた学校として、地域教育力を積極的に取り入れ、保護者や地域へ、ブログ等を活用し、教育活動理解に向け、積極的に情報を発信する。	—	4	4	4	・ブログの存在を知らない保護者がいること。 ・ブログ更新を担当する教職員が少ないと、負担となってしまうのではないかと。 ・ICT機器を活用した学校評価アンケートへの保護者回答率が低く、半数以下に留まっている状況である。	・ブログは、ほぼ毎日更新されている。学校行事の際は解散予想時刻の発信もあるんで大変動かっている。個人情報の取扱等に配慮しながら、今後も情報の発信を続けてほしい。 ・アプリを活用したお便りの配信は、保護者が時間と場所を選ばずに情報を確認できるのでありがたい。 ・学校だよりを自治会回覧に入れることで、地域にも学校の様子が伝わるようになった。